

1月の現状DI、先行DIはやや低下

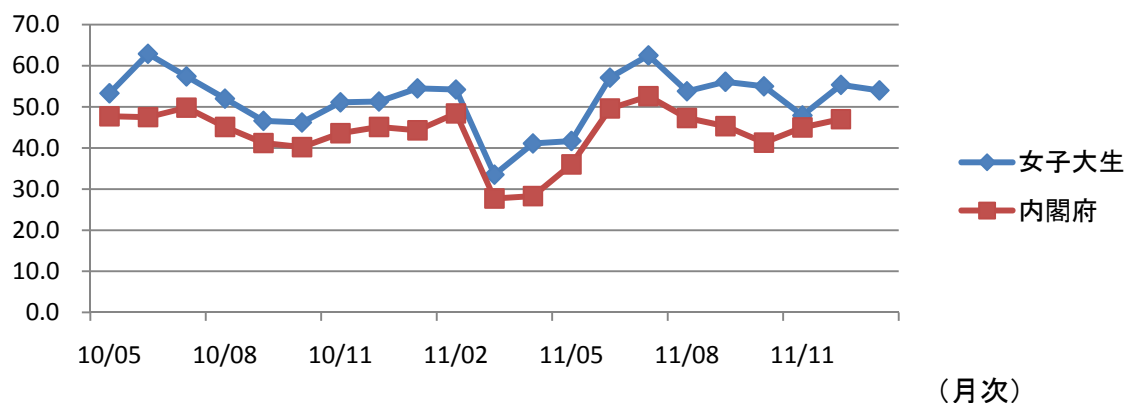
1月の女子大生景気ウォッチャー調査は、景気の現状判断D I（方向）が54.0となり、前月比1.4ポイント低下した。先行きD I も前月比で1.3ポイント低下した。

12月にD I が反転したが、この流れは続かなかった。ただ、大きな低下ではない。「閑散期でお客様の出入りが少ない」「電気料金値上げが心配」「増税が実施されたら景気がますます悪化する」「貿易収支の赤字は暗いニュース」といった景気悪化を示唆するコメントが多かった。

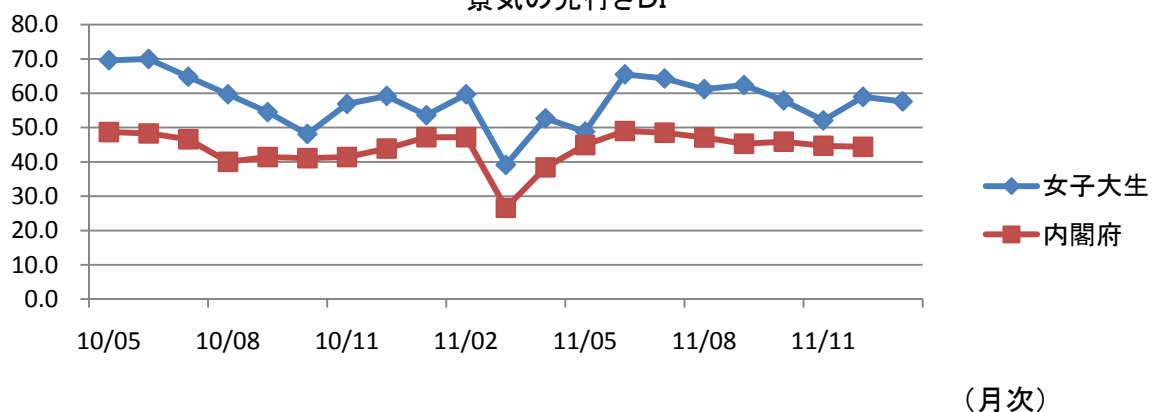
（跡見学園女子大学マネジメント学部教授 山澤成康）

調査日＝1月24日～1月31日、調査人数＝大学2, 3, 4年生25人。

景気の現状DI



景気の先行きDI



景気判断DIは、①良い1点②やや良い0.75点③どちらともいえない0.5点④やや悪い0.25点⑤悪い0点として、それぞれの構成比を乗じて計算する。全員が良いと答えた場合は100、全員が悪いと答えた場合は0となる。